

厚田区地域おこし協力隊の検証・検討について

導入

- ・H24. 9月 地域協議会で「協力隊」導入の方針と検討会設置の提案
【市外人材の誘致、地域力の維持・活性化、定住】
- ・H25. 2月 検討会発足
- ・H25.12月 募集開始（想定する活動内容）
 - * 隊員のフレッシュな視点、感性を活かす
 - * 地域の活動団体や町内会などと主体的に関わる
 - * 起業・定住を意識し、自主的に地域活動の企画・実践
- ・H26. 4月 2名着任（小島・沼倉）

検証

- ・H28. 6月 地域協議会で検証・検討委員会の設置
 - ★1名は2年間の任期で事業継承し退任（定住）、1名も継続居住を希望
- ・地域や団体と共に様々な活動をしていた
- ・お祭りや学校行事など地域の活動にも積極的に参加していた
- ・隊員同士のネットワークによる活動も見られ興味深かった
- ・団体の中に新たな動きや、人への作用が見られた
- ・最長3年だが、起業や定住のプレッシャーは大きいだろう
 - ◆地域への導入効果がみられた
 - ◆これまでの隊員主体の活動は評価できる
 - ◆起業等を視野に「業務」として期待する部分も加えては
 - ◆5人等の多数による活動も（地域に与える影響は）おもしろい

次期

- ・協力隊の次期（H29.4月から）継続
- ・活動形態はこれまで同様、隊員の主体的活動を重視する
- ・「近説遠来」に向け、地域や団体との活動、地域資源の掘り起こし、情報発信といった活動に加え、地域ニーズとの関与にも期待
- ・「道の駅」による交流人口増が見込まれるなか、「道の駅」の活用や十字街を初めとする区内への周遊のキーを「食」、「アウトドア」とし、人材の要望方針に加える
- ・募集人員はこれまでと同じ2名とするが、多数による活動も可能性を探る
- ・成果のみに着目せず、隊員の意思や活動の過程、地域との繋がり方を重視